

教科書： 数研出版物理基礎

副教材： リード $\alpha$ 物理基礎

## 1 学習の到達目標

教科書の内容を理解し、章末問題程度の問題を解くことができる。

## 2 学習計画及び評価方法

- a 知識技能
- b 思考・判断・表現
- c 主体的に学習に取り組む態度

学期	項目	単元	学習内容	学習のねらい	月	考查	評価の観点		
							a	b	c
前期	物理に必要な数字の扱い		量の考え方・系の考え方	理科特有の数字の扱い方に慣れる。	4	中間			
			示強性と示量性						
			有効数字						
	運動の表し方		速度と加速度	等速運動・等加速度運動を理解する。	5	中間			
			落体の運動						
	運動の法則		力のはたらき・つりあい	力の作図の方法、つり合いと作用反作用の違い、摩擦や浮力を理解し、次のエネルギーにつなげる。	6	中間			
			運動の法則						
			摩擦を受ける運動						
	仕事と力学的エネルギー		液体や気体から受ける力	エネルギー保存則を理解し、物体の運動を予測できる。	7	期末			
			仕事						
運動エネルギー									
位置エネルギー									
		力学的エネルギーの保存			9				
前期 授業評価									
後期	熱とエネルギー		熱と物質の状態	熱の出入りと仕事、エネルギー収支を理解する。	10	中間			
			熱と仕事						
	波動		波と媒質の運動	波の重ね合わせ、干渉等の作図ができる。また位相について理解する。	11	中間			
			波の伝わり方						
			音の性質						
	電気		発音体の振動と共振・共鳴	最も基本であるオームの法則と、それを拡張したキルヒホッフの法則を理解する。ジュール熱を計算することができる。電流が作る磁場の作図と簡単な計算問題が解ける。	12	期末			
			電気の性質						
			電流と電気抵抗						
			電気とエネルギー						
			※キルヒホッフの法則						
電流と地場		1							
交流と電磁波		2							
後期 授業評価									

## 3 評価の観点

暗記すべきことが覚えられたかどうか。/ 平易な計算問題を解くことができたかどうか。これらを試験の得点率によって評価する。また折に触れて提出物を求め、これを学習に取り組む姿勢として評価する。

## 4 観点別評価の評価基準

3観点	評価方法	評価基準
知識・技能	定期考查	極めて基本的な内容が理解/暗記できているかを数値化する。
思考・判断・表現	定期考查	教科書の章末問題程度の問題の解答力を数値化する。
主体的態度	小テスト・提出物・レポート等	課題やレポートなどの提出物、授業中の応答の巧拙を数値化する。